

全労協fax情報

NO.1034

2007年 10月 12日(金)

全労協事務局発行

TEL 03-5403-1650

「日韓労働者交流 訪韓団」に 各労組・地域から参加しよう!

～韓国民主労総の「全国労働者大会」に全労協「訪韓団」を派遣～

韓国の「民主労総 全国労働者大会」が11月11日(日)に開催されます。全労協は、今年も、この「民主労総 全国労働者大会」への参加を兼ねて、11月9日(金)～12日(月)の日程で「日韓労働者交流 訪韓団」を派遣します(別紙・参照)。各労組、地方・地域からの積極的に参加を期待します。

韓国労働運動は、この間、新自由主義グローバル化反対、WTO・二国間自由貿易協定反対、非正規労働の拡大反対、権利・人権侵害の多国籍企業に対する闘い、組合弾圧を狙った労働争議への損害賠償攻撃、労働法制改悪、等々に対決し、労組・労働者の権利・人権、存在をかけた大衆闘争、長期ストとして戦闘的に闘われてきています。

05年の韓国シチズン労組の闘い、06年の韓国山本労組の闘いは、日本へ数次にわたる遠征団を派遣しての闘いとして闘われ、全労協の仲間をはじめ多くの労組・労働者が連帯して闘い、勝利的解決をはかってきたことは記憶に新しい闘いである。

現在、韓国では、非正規労働者が60%を超える状況にあり、韓国労働運動の重要課題となっている。この間、非正規労働者の保護のために非正規法が制定されてきたが、労組・非正規労働者からは「非正規法が非正規職を保護するという言葉は信じない」「偽装請負で人身売買されている」と厳しい追及の声が上がっている(レイバーネットHP参照)。

そして、民間、公共部門とも非正規労働者の正規化、労働条件の改善のために労働組合による大衆行動、ストライキ決起が各地・各部門で闘われています。これらも日本労働運動と共通する重要課題です。

今回の「訪韓団」は、全労協の国際連帯活動の一環として、①50,000人規模で開催される「民主労総 全国労働者大会」への参加、②日本の朝鮮侵略戦争時代の歴史遺構の見学、③韓国労働運動との交流・連帯、等を目的に取り組まれます。

多くの仲間が「日韓労働者交流 訪韓団」に参加されることを期待します。

第4回「日韓労働者交流 訪韓団」への参加要請

新自由主義・グローバリゼーションの時代、労働者の生活を守るためには国際連帯・共同行動によって資本への攻撃に反撃を組織する闘いが重要になっています。また、非正規労働者問題など共通する闘いがあります。また、反戦平和の闘いを進める上で、かつて、日本の侵略によって苦しんだ歴史を持つ韓国の人々と、歴史認識を共有する作業は特に若い活動家にとって貴重なことであると思います。

このような観点から、韓国労働者との交流・連帯を求めるため、韓国民主労総の労働者大会が開催される時期に訪韓団を派遣したいと思います。

私たち全労協は2002年、韓国民主労総全国労働者大会に招かれ、また韓国労働者が来日して、日本本社への抗議行動などの争議支援等を積み重ねてきました。そうした経緯の中で、2004年以降、訪韓団を派遣し、日韓労働者の交流に大きな成功を収めてきました。

こうした積み重ねをもとに、今年も11月11日に開催される民主労総全国労働者大会参加を兼ねて、下記要項により若手労働者を中心とした第4回訪韓団を組織することを決定いたしました。

つきましては青年活動家の育成を計るためにも交流訪韓団への参加を要請いたします。

記

目的 ①韓国労働運動に接し、交流・連帯を深める。

②若手組合員の国際交流を通じた育成。

③全労協一民主労総の連帯を強める。

日程 11月 9日(金)～12日(月) {3泊4日}

11月 9日(金) 成田発 ソウル着 (観光)

10日(土) 民主労総訪問、日本朝鮮侵略時代の遺構見学

現地労組・争議現場訪問、労働者大会前夜祭参加

11日(日) 民主労総全国労働者大会参加

12日(月) 帰国

費用 8万円

[航空券(成田→ソウル)往復、宿泊代、ソウル市内交通費、食費、通訳費用を含む]

募集人員 約10名・若年労働者を優先!

なお、地方からの参加についてもご相談ください。

募集締め切り 10月25日(木)

担当 全労協本部・中岡

応募方法 参加予定者の氏名(英語表記と共に)年齢、性別、住所・連絡先を明記して申し込みください。

以上